

第5学年 外国語学習指導案

日時 令和元年 10月11日(金) 公開授業①
児童 5年3組 男子13名 女子14名 計27名
場所 視聴覚室
指導者 伊東 茂

1 単元名 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 (We Can !① Unit 6)

2 主な言語材料

(1) 基本文

Where do you want to go? I want to go to (Italy).

Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum).

I want to eat (pizza). I want to buy(olive oil).

You can eat / see / buy ~.

It's [exciting / delicious / beautiful / great / fun] .

(2) 語句

国 (America, Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, Finland, France,
Germany, India, Ireland, Italy, Japan, Korea, Peru, Russia, Spain, Thailand,
The UK, etc)

状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun, etc)

動作 (visit, buy, eat, drink, etc)

その他 (Where, coffee, country) [既出] 動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物

3 単元について

(1) 教材について

本単元では、児童に広く世界に目を向けさせ、「どこの国であるか」を考えながら聞き取りをすること、「おすすめの国」を他者に伝えること、さらに自分が得た情報から「本当に行きたい国はどこか」について、その理由とともに伝えることを目標としている。

児童は今、総合的な学習の時間で「食から世界を見つめよう」という単元を平行して学習しており、世界の国々への関心が高まっている。本教材では、デジタル教材などを用いて世界遺産や世界の国々の食習慣などについて知ることができるので、より一層興味をもち、自分が行きたい国やその理由を伝え合う学習に主体的に取り組むことが期待できる。また友達に行きたい国を尋ねたり答えたりする活動を通して、児童は **want to** ~ (~ がしたい) という思いを伝える表現に親しむことができる。

児童が主体的にコミュニケーションを図り、行きたい国の尋ね方や答え方、国名や状態・気持ち、行きたい理由の言い方に親しむとともに、自分が伝えたい表現を書き写すことに慣れ親しませる上で適した教材と考える。

(2) 児童について

児童は、これまで Unit 1 では世界で活躍する日本人を、Unit 2 では世界の様々な行事を、Unit 3 では世界の様々な国々の時間割を、Unit 4 では世界の子供たちの生活について学習してきた。ほとんどの児童は世界の国々への興味・関心を深めてきている。

これまでの学習を通して、児童は知りたい事柄について尋ねたり答えたりすることには慣れ親しんできている。しかし、児童の中には自分から話しかけたり、思いや考えを伝えたり聞いたりすることが苦手な子もいる。異性とのコミュニケーションへの抵抗感をもっている児童もいる。

読む活動については Unit 1 で大文字、Unit 2 で小文字の読みに取り組んできたので、だいぶ慣れ親しんできている。ただし、大文字と小文字を一致させることができない児童もいる。

書く活動については、Unit 1 で大文字、Unit 2 で小文字に取り組んできた。Unit 3 から Unit 5 では音声で慣れ親しんだ語句を書く活動も取り入れてきた。しかし、小文字で語句を正確に書くことができない児童は少なからずいる。「形」「位置」「まとまり」に気を付けて書く習慣を身につける必要がある。

(3) 指導にあたって

本単元の最終活動は「おすすめの国を紹介しよう」クイズである。その活動に向けて次のように学習を展開していく。

「出会う」段階では、最終目標を提示し、児童に単元全体の見通しをもたせる。世界地図や国旗にふれながら、世界遺産、世界の料理などについて視聴する活動を通して、世界の国々への知識を広めるとともに、興味・関心をもたせる。また行きたい国を尋ねたり答えたりする表現と世界や地域の写真を描写する形容詞に出会わせる。さらに you を主語にしてその国では「こんなことができる」ということをすすめる表現 can に触れる。

「慣れる」段階では、行きたい国とその理由について伝えるために want to ~ の表現に慣れ親しむ活動を取り入れる。また、eat ~, see ~, buy ~ の表現について段階的に慣れ親しませる。さらに、国名を書く活動を取り入れ、自分が行きたい国を書くことができるようにしていく。

「伝える」段階では、「おすすめの国」クイズを最終活動として行う。国を当てる活動を通して、can ~ や want to ~ の表現を繰り返して耳にし、自分の発表の中で使えるようにしていく。単元全体を通して学んだ表現を使い、相手意識をもって行きたい国や地域について説明したり自分の考えを整理して伝え合ったりする活動を取り入れる。クイズを通して、世界の国々への知識や興味・関心を広げるとともに、紹介する友達についての新たな一面の発見にもつながるようにしたい。

4 単元の目標及び評価規準

(1) 単元の目標

- ・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。また国名を書き写すことができる。【知識及び技能】
- ・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。【思考力、判断力、表現力等】
- ・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとする。【学びに向かう力、人間性等】

(2) 単元の評価規準と評価方法

観 点	内 容	方 法
知識及び技能	・国名や行きたい場所、その理由について、聞いたり言ったりすることができる。 ・国名を書き写すことができる。	行動観察 自己評価 相互評価 振り返りシート
思考力・判断力 ・表現力等	・自分が行きたい国や地域について理由も含めて伝え合っている。	
主体的に学習 に取り組む態度	・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合ったりしようとしている。	

5 単元指導計画

(別紙)

6 本時の指導（1 / 8 時間）

(1) 目標

世界には魅力ある国や地域がたくさんあることに気付くとともに、国名やどこに行きたいかを表す表現を知る。 【知識及び技能】

(2) 研究との関わり

本時は単元の1時間目なので、この単元で学習する世界の国々や地域の魅力について写真や映像資料を通して紹介し、児童の興味・関心を高めたい。また最終活動として「おすすめの色」クイズを行うことを知らせ、どんな学習が必要になるかを考えさせる。リフレクションタイムでは、学習を通して興味をもったことや単元全体を通しての自分のめあてをもたせ、今後の学習への主体性を引き出したい。

(3) 展開

時程	学習活動	指導者の活動	○指導上の留意点 ◎評価 ◇配慮を要する児童への手立て
導 入 1 3 分	【Warm Up】 1 Greetings	・明るく挨拶をする。	○グループでの挨拶も取り入れ、和やかな雰囲気をつくる。 ○はっきりと発音することや友達とのふれあいを意識させる。
	2 Let's Sing	・歌とダンスのめあてを確認する。	
	3 Small Talk ・教師の話を見聴して、単元の最終活動を知る	・Small Talkの前に黒板に貼ってある世界遺産、食べ物などについて児童に聞く。 ・単元の最終活動のデモンストレーションを行う。	○教師が「おすすめの色」クイズを提示することで、世界の国や地域の魅力について児童の関心を高める。
	<Small Talk> What country is this? Hint 1. You can drink tea. It's very delicious. Hint 2. You can buy cookies. It's yummy! Hint 3. You can see Big Ben. It's great. I like this country. I want to go to this country. What country is this?		○前単元で学習した can ~の意味について想起させる。 ○ drink, buy, see の意味について確かめ、内容を推測させる。 ○さらにヒントが欲しい場合は、Hint, please. と言えばいいことを伝え、後に行うクイズの学習に生かせるようにする。 ○ want to ~の意味を想起させる。
4	Goal	・聞き取った内容を確認する。	
	(1) Unit's goal	・単元のめあてを確認する。	
自分の行きたい国や地域のみりよくを伝えよう！			
	・単元全体を見通す。 国名・地域・その特色 行きたい国の尋ね方・ 答え方・クイズの出し方	・最終活動に向けて必要な学習を考えさせる。 言語材料・聞くこと・話すこと・書くこと	○前単元を想起させ、「おすすめの色」クイズに必要な学習について考えさせる。
	(2) Today's goal	・今日のめあてを確認する。	
世界の国々のみりよくを知ろう！			
			○国名の言い方にもふれることを確認する。
	【Main Activity】 5 Let's Watch & Think	・児童に新教材の写真をもとにしてどんな内容かを予想させる。	○視聴する前に児童に新教材の写真を見せ、知っていることをペアで共有させる。
	< Let's Watch & Think > ① You can see many pyramids in Egypt. The pyramids are very big and old. You can ride on a camel. It's fun. ② You can see the Statue of Liberty in New York. It's great. You can eat big hamburgers. They are delicious. You can buy cool T-shirts.		

<p>展 開 25分</p>	<p>・聞き取ったことをペアで話し合い、発表する。</p> <p>6 Let's Play ① Pointing Game ・教師が言う場所、建造物、食べ物などを聞き、写真を指さす。 ② Jingle 「Country Jingle」</p> <p>7 Let's Read & Write ・“Egypt”のスペルを唱えながら書き写す。 ・書き終わったらペアでチェックする。</p>	<p>・最初に全体を視聴させ、聞き取ったことを発表させる。その後、一文ずつ止めて内容を確認める。 ・国名、建造物、状態・気持ちを表す言葉に着目させる。 ・can への意味について確認する。</p> <p>・ゲームのリードをする。 ・I want to go to ()の表現を紹介する。 ・正解を確認する。</p> <p>・国名の発音をリードする。</p> <p>・机間指導をしながら声をかける。 ・「形」「位置」「まとまり」を意識して書くことを確認する。</p>	<p>◇デジタル視聴で聞き取れない児童には全体の場で確認することで理解させる。 ◎エジプトやアメリカの魅力について理解できる。 (行動観察 振り返りシート)</p> <p>◇国名と位置をペアで確認するようにする。 ◎国名やどこに行きたいかを表す表現を知る。 (自己評価 振り返りシート) ○発音に着目させ、外来語と英語の違いに気付かせる。</p> <p>○書く国名については、予め児童に選ばせておく。単元の最後では、自分が「おすすめの国」クイズで紹介する国名を書くことを伝える。</p>
<p>終 末 7分</p>	<p>【Reflection】 8 Reflection ・振り返りシートを使って自己評価する。</p> <p>9 Greetings</p>	<p>・分かったことやこの単元でがんばりたいことなどを発表させる。 ・活動のよかった点を伝える。</p> <p>・終わりの挨拶をする。</p>	<p>○観点に沿って振り返らせ、達成感を味わわせる。 ○この単元の自分のめあてをもたせる。</p>

7 板書計画

Unit's goal

自分の行きたい国や地域のみりよくを伝えよう！

Today's goal

世界の国々のみりよくを知ろう！

Greetings

Let's Sing

Small Talk

Goal

Let's Watch & Think

Let's Play 国名の言い方

Let's Read & Write 国のみりよく

Reflection 行きたい国のたずね方・答え方

Greetings クイズの出し方・答え方
